

博士課程後期（教育・心理学系プログラム）の研究スケジュール（指針）

博士課程後期修了についての基本的事項は、「広島大学大学院規則」、「広島大学大学院人間社会科学研究科細則」、「広島大学学位規則」及び「広島大学学位規則人間社会科学研究科内規」にそれぞれ規定されているが、人間社会科学研究科博士課程後期に進学・入学した学生が、所定の年限（標準修業年限3年）に修了するための広島大学学位規則人間社会科学研究科内規第3条に定める論文の作成に係る研究スケジュール及び学位審査手続きに関するタイムスケジュールは、概ね以下のとおりである。

研究スケジュール

- 1 入学後1月以内に、主任指導教員予定者に対し複数の副指導教員を含む指導教員グループの編成を依頼し、研究科学務委員会・教授会（代議員会）の承認を得る。
- 2 入学後2月以内に、研究科長へ「研究題目届」を提出する（実際の提出先は、教育学系総括支援室作成のオンラインフォーム）。
- 3 主任指導教員の指導の下に、研究計画を立案する。
- 4 立案した研究計画は、指導教員グループの研究計画審査を受ける。
- 5 研究計画の概要を、A4判で図表を含めて2,000～4,000字程度にまとめ、研究計画審査が行われる1週間前までに主任指導教員に提出する。
- 6 研究計画審査に合格した者は、研究計画に従って研究を遂行する。
- 7 研究計画審査に不合格の者は、主任指導教員の指示により、以後の適切な時期に再度研究計画審査を受ける。
- 8 研究成果を学術論文にまとめ、学会等が発行するレフリースの学術雑誌に1報以上の論文を掲載（採諾でも可）した者は、主任指導教員の指示により予備審査を受けることができる。

注1) 学会等が発行するレフリース学術雑誌に掲載された学術論文は、当該学生がファースト・オーサーであれば、共著でもよい。

注2) 適切なレフリース学術雑誌のない研究領域では、それに準ずる雑誌等に掲載された論文（当該学生がファースト・オーサーであれば、共著でもよい）をもって代えることができる。ただし、この場合、出版されたもの、出版予定の証明、若しくは印刷中の校正原稿の提出を必要とする。

注3) 研究計画審査以前の学術論文であっても上記の1報に含めることができる。

注4) 投稿論文の本数等については、所属するプログラム・コース・領域等が定める基準に従うこと。

- 9 予備審査会開催報告までに研究倫理教育の受講を修了する。
- 10 予備審査を受けることが許可された場合は、発表内容の概要（A4判、枚数任意）、学会発表を含む研究業績目録、公表論文の抜き刷り1部又は論文採諾の証明となるもののコピーを、予備審査が行われる1月前までに主任指導教員に提出する。
- 11 予備審査は、公開の場で発表するものとし、発表30分、質疑応答30分を基準とする。

- 12 予備審査に合格した場合は、学位論文を作成し、指導グループに提出して査読を受け、完成させるとともに、研究科教授会（代議員会）に提出する論文の要旨（A4判で図表を含めて4,000～8,000字程度）を作成し、これについても査読を受けて完成させる。
- 13 研究科教授会（代議員会）における学位請求のため、修了予定年度の1月25日（前期末修了の場合は、7月5日）までに、次のとおり教育学系総括支援室へ提出する。
（当該期日が土曜日、日曜日又は国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日の場合は、以後最初の平日とする。）ただし、それ以前の提出・受理は、可能とする。
- ① 学位論文： 2部（ハードカバー製本1部と電子データ(PDF)1部）
 - ② 論文の要旨： 3部（紙媒体A4判2部と電子データ(PDF)）
 - ③ 論文目録： 1部（所定の様式）
 - ④ 履歴書： 1部（所定の様式）
 - ⑤ 研究業績： 2部（紙媒体A4判1部と電子データ(PDF)）
 - ⑥ 確認書（剽窃防止ソフト確認画面添付）： 1部（所定の様式／両面印刷）
 - ⑦ 連絡先： 1部（所定の様式（研究科控用））
 - ⑧ 論文要約： 1部（論文全文が公表できない場合のみ電子データ(PDF)で提出）
- 14 学位申請が、研究科教授会（代議員会）で受理された後、審査委員会において自分の研究領域と論文に関する試験を受ける。
- 15 審査委員会の試験を経て、プログラム学位審査会及び研究科教授会（代議員会）の審査に合格したものは、博士課程後期を修了するとともに所定の博士の学位（課程博士）を取得できる。